

第26期 支部長執行員・副支部長研修会

支部リーダーの執行力で決まる交渉力の強弱

～備えよう、迫りくる労働環境条件の悪化に向けて～



勝又浩正先生

第26期支部長執行員・副支部長研修会を2015年12月21日(月)～22日(火)1泊2日で、千葉県木更津市「かずさアーク」において、講師に日本労働教育研究所代表 勝又浩正先生をお迎えして、本部役員11名、支部長執行員11名、副支部長15名の出席で開催しました。

組織部長による開会宣言の後、茨木中央執行委員長より「今回の研修は、改めて支部長執行員の任務を確認するとともに、支部長執行員の補佐たる副支部長は、支部長執行員が何を基準に行動し、何を考えているのかを学ぶものとなっています。今回はお互いの役割を知る大きな機会になりますので、2日間頑張りましょう！」と挨拶がありました。その後、勝又先生より「組織の強化は、支部長執行員と副支部長の役割が、かなり重要だと思っています。この2日間で力をつけられるように、頑張りましょう！」と挨拶がありました。

オリエンテーションに続き、今回のテーマである「やってみよう！組合の規約・規定及び支部規定から支部長執行員並びに副支部長の職務についての条項をリストアップ・～どんなお仕事をすれば良いのでしょうか～」という支部長執行員、副支部長共通の課題が発表され、グループワークにおいて、中央執行部と共に支部長執行員と副支部長の職務について、「規約・規定」を改めて最初から最後まで読み解き、それぞれのグループの発表が行われました。

研修2日目は勝又先生の講演が行われ、今回のテーマである「組織の執行力と支部長執行員・副支部長の職務」について、組織執行力強弱の度合いを測る視点や、認知を得るために必要な条件、そして本部役員と支部役員との連携など、具体的にわかりやすく講義して頂きました。最後に茨木中央執行委員長より「なぜいま国際労働組合・執行ラインパワーの強化か」をテーマに、出席者全員の共通認識として各部門の厳しい環境を確認した後、その解決に向け国際労働組合の知恵と工夫を結集し、正しいと信じた道を進んでいく重要性や、立ちはだかる様々な問題を乗り越えるために、支部長執行員と副支部長、支部役員が必要であること。また、コミュニケーションをしっかりと行うことが出来た時に、執行ラインのパワーが強化されると総括があり、2日間の研修は終了しました。参加された支部長執行員・副支部長は、今回の研修で規約・規定を改めて読み解くことが出来たと思います。そして、今まで以上に情報の共有と、伝達の大切さを再認識して、支部運営に当たられることを期待します。2日間たいへんお疲れ様でした。



茨木中央執行委員長

